

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2019年5月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第604号

2019年1・2月号の「はなしあい」(601号)で、村上みか教授(同志社大学神学部、関西セミナーハウス活動センター運営委員)が巻頭言を担当してくださいました。その「はなしあい」の難しさという題目と内容に触発され、今回、勝手に継続して「はなしあい」の難しさについて「イト教育」と題して論じたい。

私は、35年勤めた大学で、デイビイト教育を探り入れていた。デイビイトとは、たとえば「天皇制の是非」などのテーマをめぐる、肯定(賛成)派と否定(反対)派に分かれて、議論を戦わす知的ゲームである。ゲームであるからルールがある。共通のルールやマナーに従い論戦を交わす。またゲームだから、勝敗が付く。勝敗を下すのは、ジャッジである。デイビイトでは、日本の司法制度と同様、当事者主義を採用する。勝てば正しく、負ければ間違いというわけではない。

デイビイトは知的スポーツでもある。試合では、自分の考えと違う立場にも立つ。持論・確信を一度、棚上げ、いずれの立場でも戦える論者

(「デイビイター」が求められる。そのためには、自分の確信や信念を跳び越えて、反対の立場に立つ知的柔軟性が必要である。ゲームなら簡単に立場を替えられるが、ゲームでなければ無節操のそしりを免れない。

デイビイトでは、試合に臨む準備段階(文献読破)から、

徹頭徹尾、対立する相手の立場・主張から学ぶ。自分の立場と主張を強化・補強するためには、逆説的だが、反対の立場や考えを知り尽くさねばならない。

テーマがたとえば「憲法九条の是非」の場合、非武装平和主義の立場を強固にするには、武装平和主義の立場や主

「はなしあい」の難しさと デイビイト教育



山崎 和明

関西運営委員長

張から徹底的に学ぶ。その逆も然りである。なぜなら相手は、敵の弱点を良く知っているから。孫子の兵法曰く、彼(敵)を知り己を知れば百戦殆(あや)うからずである。

試合でも、一方的に自分の立場を主張しては空回りである。相手の論点に合わせて議論を尽す。何よりもま

ず、相手の立場と主張を良く聴き、その論点を正確に理解することから始まる。

頭が固いと、スポーツでいう体が固く、柔軟性に乏しい知性のことである。自分の立場に凝り固まっていたら、相手(彼)の立場や主張を理解できず、しかも己を知っているようで、実は知らない状態にある。

デイビイト教育の歴史や経

験のすくない日本では、勝ち負けを争うような議論をする、人間関係がギクシャクする。それは、とりわけ日本人の精神風土とも関わる上に、誰もが服すはずの公平中立の立場を守るジャッジや司会者もおらず、信頼関係の成り立つ学問共同体という土台がないからでもある。

それでも、こうしたデイビイト教育を通して学生たちに伝えてきた。対立する立場や意見が、自分の主義・主張のためにどれほど重要な存在であるかを認識し、ちっぼけな自分の頭の中から抜け出して、広大な世界に飛翔する勇氣をもつことを。一人前のデイビイターになって、勝敗を超えたところで、自分の世界観、歴史観、人生観を確立するように指導してきた。

関西セミナーハウス活動センターでは「平和を考える」シリーズで、(キリスト教)平和主義にこだわらず、柔軟に頭をほぐし、異なる意見からも学ぶことを目指し、7月27日、8月31日には、松竹伸幸先生、伊勢崎賢治先生をお招きしてご講演いただく。

(四国学院大学名誉教授)

関西セミナーハウス活動センター

●2018年度 修学院フォーラム「社会」第5回
「今こそ憲法を！
武器で日本を守るのか？」

弁護士 岩佐 英夫さん
2018年12月8日(土)



初めに岩佐英夫弁護士から憲法の持つ意義と今の政治状況が話された。
まず安倍首相による改憲の動きが紹介され、強い姿勢にもかかわらずその試みが2018年通常国会でも、臨時国会でも遂に憲法審査会への自民党提案が提示できずに閉幕した。これは国民の大きな運動と野党共闘の力によるところが大きい。戦後70年の憲法の持つ意味は大きく、国際社会でも理想とされている。日本がしっかりと国連憲章に則り、憲法を守り他の国



と平和に付き合っていれば中国も北朝鮮も攻めてなど来ないし、来られない。国際社会が許さない。そこをしっかりと確信して国づくりをするということこそ国を守ることになるという話であった。
その後、参加者から意見交換し、攻められても反撃しない精神が必要であるとの意見や、日本の歴史から見て、攻



異色のキリスト者評論家、佐藤優氏は、ナショナリズムが、安価な手段として利用されているという。ナショナリズムを主張するには、何の努力も才能もいらない。資格がなくとも、生まれながらにしている。こうしたナショナリズムは、往々にして直接行動にでる。「民主主義」さえも安価な手段として利用され

められるより、日本が他国を侵略しないかという危険も大きいとの意見や、自衛隊員こそ今の憲法を守ってほしいのではないか、などの意見が出された。

●2018年度 修学院フォーラム「社会」第7回
キリスト教から見たナショナリズム
——北方領土交渉を中心に——

作家・元外務省主任分析官・同志社大学神学部客員教授 佐藤 優さん
2019年1月26日(土)

うる。そういえば、基本的「人権」も同様の危険性があるのではないか。

北方領土返還交渉では、元外交官・通訳としての実戦経験がものをいう。どうして四島返還ではなく二島返還なのか、その歴史的経緯と現在における地政学的メリット、なぜ「引き渡す」であって「返還」ではないのか、その外交的機微を分かりやすく解説してもらえた。ロシア側の引き延ばし戦術の結果、成果なしと評される直近の日露交渉(1月22日)にさえ、「同意した」から「約束する」へと平和条約締結(二島返還と国境の線引き)への確かな進展がある

参加者が少なかったのは残念であったが、修学院9条の会のメンバーの参加もあり、集いを毎年重ねていきたいという事で閉会した。



ことを学んだ。
講演ならびに質疑応答で、その他、聖書(新しい協会共同訳)とヨブ記(サタン論)、天皇制と君が代、神社と神道についての佐藤氏の考えも披露されたが、改めてそれぞれのテーマで詳しくご講演いただければと願う。余人を以て代えがたい貴重な講演であった。





講師は日本キリスト教社会福祉学会会長、日本社会福祉学会副会長としてキリスト教と福祉思想の関係を研究の第一線において探求しつづけるとともに、多くの福祉分野の専門ワーカーを育ててこられた教育者でもある。

福祉思想の系譜をたどれば、一匹の羊を大切にするイエスの愛他行為(アガペー)を淵源とするコンパッション(共喜共位)に逢着する。その後、博愛、社会(厚生)事業、社会福祉へと発展するにつけ、高い専門性が求められる反面、内的コンパッションは後退せざるを得なかった。



講師は聖書の思想と現代の福祉現場における諸問題とを縦横無尽に往復しながら、キリスト教的「慈善」(Charity)に由来する福祉の本質的性格を強調された。

後半の「はなしあい」では、内的コンパッションを福祉行政、現場、専門性などの社会的広がりにおいてどのように回復すべきかに集中して議論がつづいた。参加者からは「寄り添う者に寄り添う人が必要ではないか」との訴えもあり、内的共感とその社会化

●2018年度 修学院フォーラム「福祉」第2回
「キリスト教と社会福祉―他者の痛みへのコンパッション(共感共苦)をめぐる―」
 同志社大学社会学部教授 木原 活信さん
 2019年2月16日(土)



今年度は、プリントの信徒への手紙IIからパウロと信徒の関係を学ぶ。主観的に聖書を読むことで、新しい発見を試みている。

第1回4月8日は、天気よし、桜満開の日で、今回会場は、最高の雰囲気であった。中、最高の雰囲気であった。初参加も3人迎えた。まず、お茶会から始まり、受難節にあわせてヨブ記から苦難の意味を考えてみた。「罪の報い

●お茶のこころと宗教のこころ
「聖書をいっしょに読みましよう2019」
第二回報告とご案内
 座長・日本基督教団牧師 榎本 栄次さん
 2019年4月12日(全8回)

を考えるうえで大きなヒントになった。早朝に家を出発して遠路参加されたソーシヤルワーカーもあり、熱心な議論した。

となったが、時を惜しみつつ、関西活動センターにおける今年度最後のフォーラムを終了した。

賛助会費・寄付金報告(1)
 2019年4月1日~4月30日(順不同・敬称略)

◆関東活動センター 賛助会費	
森野 善右衛門	3,000
神学生交流プログラム寄付金	
日本ナザレン神学校	20,000
◆関西セミナーハウス 寄付金	
なにわ会	5,000
◆関西セミナーハウス活動センター 賛助会費	
真鍋 裕子	5,000
梅山 猛	15,000
小澤 妙子	5,000
根岸 宏邦	5,000
横田 穂美	3,000
中村 信博	10,000
浅川 具美	10,000
細田 和民	5,000
五十嵐 萬里子	5,000
林 律	10,000
松岡 蓉子	5,000

としての苦難」ではなく、新しい神との出会いの時として受け止める。復活はどんな底から起きる新しい神との関係で捉えてみたい。

プリント信徒への手紙では、パウロの厳しい手紙、涙の書簡とその意味は、裁くためではなく、喜びを共にするためにというパウロの複雑な



気持ちが変わる。
 「再びあなた方を悲しませまいと決心した」(2...2)というところに、「涙の書簡」への反省と、その真意を伝えたいパウロの気持ちが理解できる。

12月まで月1回開催している。(8月は除く)連続でも、1回ずつでも参加できる。引き続きの学びに新たな参加を呼び掛けたい。

プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**2019年度関東フォーラム 宗教対話I**

「日本キリスト教史を読む」Ⅲ
(昭和篇全7回)

講師：戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

第2回「赤岩栄 そのキリスト教批判と闘いの生涯」

日時：6月13日(木)14:00~16:00

第3回「木俣敏 農村伝道と伝道圏伝道に尽くした生涯」

日時：7月11日(木)14:00~16:00

会場：早稲田奉仕園セミナーハウス101号室

参加費：1回500円

■**2019年度聖書を読む講座**

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」(第2期)(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：2019年4月~2020年2月(8月休会)

第2火曜18:30~20:00

③6月11日、④7月9日

会場：早稲田奉仕園スコットホール222

参加費：1,200円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

■**2019年度研究会**

「さらに豊かな礼拝のために~言葉をお届けするトレーニング」(全10回)

講師：友野 富美子さん(日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

日時：2019年5月~2020年3月(8月休会)

第3火曜18:00~20:00

②6月18日、③7月16日

会場：日本基督教団巣鴨ときわ教会

参加費：1回1,200円

■**2019年度関東フォーラム今日的課題II**

「ジャーナリストがその本音を語る」

第1回 菅原伸郎さんに聞く

「最近の宗教報道に思う」

講師：菅原 伸郎さん(元朝日新聞論説員、大阪本社学芸部長、「こころ」編集長)

日時：6月28日(金)18:30~20:30

会場：カフェスナック ViA (新宿区早稲田2-3-21)

参加費：1,500円 定員：25名

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜 清心会**

日時：2019年6月9日(7月休会)

日曜9:00~15:00 受付

於：関西セミナーハウス

年会費：4,000円、臨時会費1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2019年度お茶のこころと宗教のこころ**

「聖書をいっしょに読みましょう」

座長：榎本 栄次さん(日本基督教団牧師)

日時：2019年4月~12月(8月除く)第1または第2月曜

13:30~16:30(全8回)

③6月3日、④7月1日

会場：関西セミナーハウス

参加費：1回1,500円 学生500円(抹茶含む) 定員：20名

■**2019年度開発教育セミナー**

第1回「開発教育入門セミナー」

日時：2019年6月23日(日)

10:00~16:00

会場：京都市国際交流会館

参加費：1,000円 定員：40名

共催：京都市国際交流協会

■**2019年度修学院フォーラム「福祉」**

第1回「映画上映『さとにきたらええやん』とはなしあい

~こども・若者の『居場所』って何?」

講師：荘保 共子さん(認定NPO法人こどもの里 理事長)

日時：2019年6月29日(土)

13:30~17:30

会場：日本基督教団室町教会

参加費：1,500円学生500円(茶菓付) 定員：50名 共催：京都YWC A

東 西 南 北

◎**関西セミナーハウス活動センター**
運営委員長は、小久保 正から、
山崎 和明に交代しました。

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
関西セミナーハウス
<http://www.kansai-seminarhouse.com/>
関西セミナーハウス活動センター
<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 **日本クリスチャン・アカデミー**
代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198

E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail: info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail: office@academy-kansai.org

賛助会費・寄付金報告(2)

2019年4月1日~4月30日(順不同・敬称略)

◆**関西セミナーハウス活動センター賛助会費**

平林 喜博 5,000
相浦 和生 3,000
蔭山 淳 10,000
川北 かおり 10,000
山本 貴之 5,000
シュベネマンクラウス 10,000
黒田 睦子 3,000
浅田 凉子 10,000
木下 壽子 5,000
伏木 信次 5,000
鳥井 清司 5,000
鳥井 操 5,000
上條 美代子 5,000
松本 嘉一 5,000
李 善恵 5,000
古賀 暢子 10,000
中山 晴美 5,000
浦 晴子 5,000
柳井 繁彌 5,000
間瀬 啓允 5,000
山崎 和明 10,000

寄付金

中村 信博 40,000
細田 和民 10,000
君村 昌 1,000

奥田 美代子 1,000
南 和子 1,000
松平 千鶴子 1,000
桑島 伸一 1,000
米澤 敏子 1,000
津田 昭二 1,000
廣瀬 芳之 1,000
二山 百合子 1,000
竹下 1,000
上西 1,000
勝谷 1,000
桃山アシュラム 5,000
日本基督教団西が丘教会 10,000
平林 喜博 5,000
シュベネマンクラウス 30,000
姫野 眞知夫 5,000
シュベネマンクラウス 1,500
柳井 一朗 1,500
西川 悠貴 30,000
鳥井 清司 3,000
京滋キリスト者平和の会 10,000
飯田 ふみ子 5,000
小久保 正 30,000
間瀬 啓允 5,000
水戸 潔 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。